

創世記

創世記全体のテーマと流れ

天地創造	人類の罪	ノアの洪水	諸国民と言語の始まり	アブラハムの家族	ヨセフ、イスラエルの民
1章-2章	3章-4章	5章-9章	10章-11章	12章-38章	39章-50章

登場人物：アダム、イブ、ノア、アブラハム、イサク、ヤコブ、ヨセフ
(▶覚え方、アノ～、アブラ～イヤヨ)

48章のポイント

48章では病気(ホレ-/深刻な病気)になったヤコブが間も無く最期を迎えようとする中で、ヨセフとその孫マナセとエフライムを祝福しようとする場面が記録されています。本来なら、兄弟達が集まるのが普通ですが、今回は主が特別な計画を持っておられたので息子ヨセフと孫達だけが祝福の場に立ち会いました。力を振り絞って床に座ったヤコブは、孫の長男マナセと孫の次男エフライムを祝福します。本来なら祝福と権威と名誉を意味する右の手で長男マナセを祝福するはずでしたが、ヤコブはそのようにはしませんでした。ヨセフがわざわざ長男マナセを右手で祝福できるように配置したにもかかわらず、ヤコブは孫達の目の前で腕を交差させ、次男のエフライムを祝福しました。突然の事態に間違いかと思ったヨセフでしたが、ヤコブは「わかっている。私には分かっているんだ。」と話し、本来のユダヤ人の文化以上に創造主のご計画があり、次男エフライムを祝福したのです。

学びましょう

1. 49章1節～33節を読んでみましょう。
2. 49章1節～33節のポイントを把握してみましょう。

(1)ヤコブの子供達に対する評価

49章は「子供達へのヤコブの祝福」というタイトルで始まっています。しかし、祝福だけではなく、父ヤコブから見た子供達の評価といっても良い章になっています。子供達の生き方を評価しながら、その将来(カナン^{ほんぽう}の地以後)に起こる事も預言しています。

- (1)ルベーンルベンは長男として特権が与えられていましたが、^{ほんぽう}奔放であったのでそれを失ったとヤコブは言及しました。激流が流れるように情欲のままに行動(父の側女ビルハと一夜を共にした事件)したと評価されました。ルベン族はヨルダン川東に定住後、滅びたと思われています。
- (2)シメオンと(3)レビー妹ディナの為に共に刀を取った2人でした(34章)。ヤコブが呪われよ(7節)と言及している事から2人の犯した過ちの大きさを再度物語っています。レビ族はカナン定住後48の街に分かれて住んだ(ヨシ21章)。
- (4)ユダー父ヤコブのユダへの評価は肯定的でした(というよりは祝福)。兄弟達への辛辣な指摘と異なりユダが兄弟達のリーダーになる事が語られました(8節)。またユダを獅子と表現しました。獅子には普遍的に恐れられる近づき難い王のイメージがありました。ユダ族からでた王ダビデをも思い起こさせる表現です。さらには、王権と統治者の象徴である杖もユダから離れることはない^{くらふる}と記録されました(10節/新改訳・新共同訳)。
- (5)ゼブルンー彼らが住むであろう領地についての言及があります。
- (6)イッサカルー「2つの鞍袋^{くらふる}の間に休む」という表現は、後に住むことになる土地についての言及です。ガリラヤ湖南西の肥沃な土地に住みますが、その肥沃な土地の故にカナン人の圧迫に逢う事の預言でしょう。
- (7)ダンーダンという名前の語源は「裁き」です。この名前の由来と同じように小さいけれども大きな力を持つようになるとの預言です。後のサムソンはダン族の出身でした。
- (8)ガドーヨルダン川の東の国境地帯に住むことになり、よく紛争に巻き込まれるが、その度に勝利する事が記録されています。
- (9)アシェルー豊かさの中で生きていくことが予言されています。
- (10)ナフタリー北へ北へと移動していく民族になりました。「解き放たれた雌鹿」という表現は俊敏な様子をイメージした言葉でそれが戦いの

場で発揮される事を意味しており、「良い子鹿」は戦争での勝利を意味しています。

(11)ヨセフ

(12)ベニヤミンーベニヤミンは狼おおかみに例えられました。これは士師時代に戦いに参加する姿を預言していたり、イスラエルをモアブから救ったエフデ、またサウルやヨナタンがベニヤミン族である事も預言の一つ

★ヤコブは人生の最期に子供達一人一人の生きた姿とその将来に言及しながら、祝福(ここでの祝福は上手く行くようにという願い)を祈りました(28節)。ヤコブが12人の息子の生き様をよく知っていたように、創造主も私たちの生き様をよく知っておられます。どんな性格で、どんな生活をしているのか、その生き様や性格の延長線上にどんな人生があるのかもです。それを知っていて、私たちの人生の様々な場面で様々なことを与えてくださる方創造主です。

分かち合いましょう

創造主はヤコブが12人の息子を知っていたよりも、もっと私たちをよく知っておられます。人生の様々な出来事の中で、自分の計画にない事や自分の思っていない事が起こると不平を言いがちだが、創造主の深い御心を黙想する時に、それは感謝へと変わっていきます。最近、そんな出来事がありましたか。

1. 教会と記念館の為

(1)ビジョン達成のために ①「創造をベースに、99%へ福音を」という教会のビジョンが、創造主によって祝福されますように。②2021年度ビジョン「創造主を信じ、その大能の力によって強くして頂きなさい」の実現の為に。クリスチャン一人一人が、主に繋がり、主に強められるように。

(2) 教会のため ①教会の本質的な働きー礼拝と伝道の働きの為 ②教会の共同体の関係祝福のために③教会の霊的成長・成熟のために ④地域との関係 ⑤ユースの学び会の為に

(3) ノアの箱船記念館のため ①ノアの箱船記念館が伝道のために、クリスチャンの信仰形成の為に用いられます様。②ノアの箱船記念館の財政

の祝福、ノアの歩道の為

(4) 教役者のために①堀越葉満主事のため ②宮崎聖牧師家庭のため

2. 教会員の方々の為に

(1) 病にある方々の為に・平安があります様に

(2) 教会からしばらく離れている方の為

(3) 今月の祈禱課題の方々のために

3. 伝道と宣教の為

(1)洗礼準備・聖書の学びをされている方々のため

(2) 受洗後の学びをされている

(3) 伴侶の救いの為

(4) 伝道のためのグループ(感染から守られる様に)

- ①レプトン ②ゴスペル・フラ ③卓レシア ④女性集会
- ⑤創愛クラブ ⑥クラフトカフェ ⑦ノア・パーク

(5) ログス・ホープ号乗船